

授業科目	アジア観光文化交流論					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21409J		
開講年次	3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP3-1				
担当教員	劉 明								
授業概要	訪日外国人が2,000万人を突破し、中国を筆頭としたアジア圏の台頭が目立った。訪日客の増加は日本にどう影響を与え、今後どのような動きをみせるのか注目されている。「アジア観光文化交流論」では、日本における観光立国、ビジット・ジャパン・キャンペーン等について論じ、観光マーケティングの視点から、日本や九州におけるインバウンド観光の振興にとっては、重要なターゲットとなるアジア特に中国・上海からの訪日観光客の誘致を事例に講義する。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。また、授業の内容と関係あるビデオの活用・映像教育も図る。								
学生が達成すべき行動目標	1.観光立国の意味を理解することができる。 2.訪日マーケットの現状と展望を把握することができる。 3.観光マーケティングの概念や定義を理解することができる。 4.インバウンド観光の知識を身につけることができる。 5.九州におけるインバウンド観光のあり方を理解することができる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)			40		20		60		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)			30		10		40		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
示されている5つの到達目標を達成できると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワーク及び観光産業界への就活に反映させることができる。				示されている5つの到達目標を達成するすることができる。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	講義	該当部分の復習	30
2	日本における観光立国 ビジット・ジャパン・キャンペーンについて	講義	該当部分の復習	60
3	国際情勢と訪日旅行 東アジア諸国の訪日旅行について	講義	該当部分の復習	60
4	観光マーケティング 観光マーケティングの概念	講義	該当部分の復習	60
5	観光マーケティング 観光マーケティングと製造業マーケティングの違いについて	講義	該当部分の復習	60
6	インバウンド観光 日本・九州におけるインバウンド観光(上)	講義	該当部分の復習	60
7	インバウンド観光 日本・九州におけるインバウンド観光(下) (外部講師による講義〈予定〉)	講義	該当部分の復習	60
8	観光政策 日中両国の観光政策の歴史的展開と変化	講義	該当部分の復習	60
9	マーケティング・ミックス(4P) 観光商品戦略	講義	該当部分の復習	90
10	マーケティング・ミックス(4P) 価格戦略	講義	該当部分の復習	90
11	マーケティング・ミックス(4P) 流通戦略	講義	該当部分の復習	90
12	マーケティング・ミックス(4P) プロモーション戦略	講義	該当部分の復習	90
13	マーケティング・ミックス(4P) 課題と解決策	講義	該当部分の復習	90
14	地域観光マーケティング戦略構築 九州におけるインバウンド観光のあり方	講義	該当部分の復習	60
15	テーマ:「アジア観光文化交流論」のまとめ 本講義「アジア観光文化交流論」で扱った内容を振り返り、総括する。	講義	総復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「アジア観光文化交流論」を学ぶ意義を理解しておくこと。			
テキスト	『地域観光マーケティング戦略構築のあり方 ―九州のインバウンド観光を事例として』 劉明著 くんぷる出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『インバウンド概論』(株)JTB能力開発 『訪日旅行市場におけるディステーション・マーケティング研究』 劉 明 著 くんぷる出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②海外へ留学・旅に行くこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。 ⑤インバウンド観光研修に参加すること。			
達成度評価に関するコメント	1. 故郷・九州を愛する心を持つこと。 2. 観光マーケティングとインバウンド観光の知識をしっかりと身に付けること。			